



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第31号（令和5年1月19日）



仕事や勉強ができる人は

“やる気”ではなく“システム”に従う



学校だより【スマイル】第30号で【行動】と“やる気”について、お話をしました。
おさらいをすると

「やる気が出たから勉強するのではなく、勉強するからやる気が出る」
（やり始めない限り、“やる気”は出ない）

池谷裕二先生のお話には、実はまだその続きがあって、今号でその一端をお話します。

池谷先生のお言葉では…

- 優秀な児童・生徒は勉強する気分を待つことはない。時間が来たら粛々（しゅくしゅく）と始める。
（やる気がある・なしでだらだらと時間を過ごすのではなく、計画通りに時間で動く）
- “やる気”を必要と感ずるのは低次元の発想である。
（まず行動に移して試みるのが大事！）
- 「やればできるけれど“やる気”にならない」は、できない人がつくった言い逃れのための言葉である。（やればできる…実際にやる人は良いけれど、多くはやらない口実に使っている）
（行動することでやる気は出るのに、やる気になるまで待つ？）
- “やる気”の最大の問題は一過性。【熱意と“やる気”は同じではない】勉強で大切なのはその瞬間の“やる気”（最大瞬間風速）ではなく、偏西風のようなじわじわと流れ続ける“継続力”である。
- 「できる」「やるぞ！」と断定して取りかかるよりも「できるかな？」「やるためには何が必要かな？」と自問した方がモチベーションが上がり、成果が50%も上がる。

そして大切なのは**習慣化すること**（決まった時間に決まったことをやる）

辞書で調べると、習慣（しゅうかん）とは「長い間繰り返し行われていて、そうすることが決まりのようになっている事柄」です。みなさんの身のまわりにも自分の習慣になっていることが多くあると思います。例えば「朝起きたら、必ずトイレに行く」「ごはんを食べたら歯みがきをする」「寝る前に明日の準備をする」などの行動に関することや「朝〇〇時に起きて、夜〇〇時に寝る」「〇〇時から〇〇時は勉強」「ゲームは1時間」などの生活リズムに関することもあると思います。また「あいさつをしっかりとる」「お家の人の手伝いを進んでする」「自分の周りのものを片付ける」などの習慣が身に付いている人もいます。習慣化すると、様々なことが自然とできるようになると言われます。

【勉強】【習慣】でWebページを調べると、多くのページに「**勉強の習慣化は小学生のうちに行っていることが大事**」だと書いています。中学校に長く勤め、中学生を多く見てきた私も「**玉小の子どもたちが中学校、そしてその先に進んだ時のことを考えると今、必要なこと**」だと考えます。それでは習慣化するためにどのくらいの期間が必要なのでしょう？池谷先生は「平均66日」と言われています。つまり、**2ヶ月は続けることが大事**です。2ヶ月後、みなさんは学年が1つ上がる頃ですね。「**勉強の習慣化**」をやってみよう！

児童アンケート結果より

昨年12月に学校生活や日常生活の様子についての児童アンケートを行いました。その回答結果が集計できましたので、お知らせします。【児童回答率 96.1%】

【集計方法・評価】

- それぞれの回答のAを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、平均を出しています。
したがって、各項目の平均は2.5となります。
- 評価は3.5～『満足できる』、3.0～3.4『まずまず満足できる』、2.5～2.9『努力を要する』、～2.4『特に努力を要する』としました。
- 昨年度同期(R3.12)、今年度1学期末(R4.7)と経年比較をしています。

分類	No	質問項目	R4.12	R4.7	R3.12
学 習	1	学校の授業は、わかりやすく楽しい。	3.3	3.2	3.4
	2	学校に行くのが楽しい。	3.4	3.3	3.5
	3	自分の考えを発表している。	2.9	2.8	3.1
	4	家庭学習を毎日行っている。	3.3	3.1	3.3
豊 か な 心	5	自分には、よいところがある。	3.1	3.0	2.9
	6	将来の夢や目標をもって学校生活を送っている。	3.3	3.1	3.2
	7	気持ちのよいあいさつができています。	3.3	3.2	3.1
	8	時間をきちんと守って、生活ができています。	3.2	3.1	3.1
	9	友達とけんかをしないで、仲良く過ごすことができる。	3.5	3.3	3.3
健康 ・ 体力	10	早寝、早起きをしている。	3.1	2.9	3.2
	11	毎日朝ごはんを食べている。	3.6	3.4	3.5
	12	天気の良い日は、外で元気よく遊んでいる。	3.5	3.3	3.4
	13	学校のきまりを守って生活している。	3.5	3.5	3.5
行事	14	学校行事に楽しく参加している。	3.4	3.5	3.5
地域	15	学校支援ボランティアの人や地域の人と活動するのは楽しい。	3.2	3.0	3.0

上昇 豊かな心（5～9）、昨年度を上回る！

今回の結果で特筆すべきは「豊かな心」の質問（5～9）の数値がすべて上がったことです。質問に対して、A（あてはまる）、B（どちらかといえばあてはまる）と答えた児童の割合は以下の表の通りです。5：「自分にはよいところがある。」や6：「将来の夢や目標をもって学校生活を送っている」はなかなか上がりにくいのですが、すごいです。みなさんが毎日の生

No	質問項目	R4.12	R3.12
5	自分には、よいところがある。	80.0%	68.8%
6	将来の夢や目標をもって学校生活を送っている。	85.3%	77.5%
7	気持ちのよいあいさつができています。	82.7%	72.5%
8	時間をきちんと守って、生活ができています。	80.0%	76.3%
9	友達とけんかをしないで、仲良く過ごすことができる。	92.0%	82.5%

活や運動会などの学校行事、委員会などで「自分から」活動した結果だと思えます。また9：「友達とけんかしないで仲良く過ごすことができる」は、人権集会の時に決めたクラス目標を意識して行動できた結果だと思えます。そして運営委員さん達が企画・運営したハッピー集会もこの上昇の一翼を担っていると思えます。みなさんの行動は、「ほめる・労う」が多かったです。

学習についての考察は、本日配付の【保護者アンケート集計結果について（お知らせ）】に載せているので、そちらを見てください。